

【タイ】

7-8 月の市場動向トピックス

- 2018 年 7 月の訪日タイ人数は、前年同月比 31.2%増の 74,400 人で、7 月として過去最高を記録。
- 2018 年 8 月の訪日タイ人数は、前年同月比 31.3%増の 47,500 人で、8 月として過去最高を記録。
- 7-8 月は旅行閑散期であるが、相次ぐ新規就航や増便で航空座席供給量が大きく増加していることから、訪日者数も大幅に増加した。閑散期対策として 5 月から展開した夏季向け特設サイトや広告、新規就航や増便をした航空会社との共同広告等に加え、8 月には下記 TITF へ出展し、訪日旅行に関する情報発信を行ったことで、出発日間際の訪日旅行商品購入者等への誘客促進が図れたことが、訪日者数増加を牽引したと考えられる。

7-8 月の主なプロモーション活動

- タイ市場において旅行のピークシーズンの一つである秋季の訪日旅行を促進するために、8 月 28 日に特設サイトをオープンし、日本の秋にお薦めする全国の 10 か所のスポット(北海道函館市の見晴公園、青森県の十和田湖、富山県の黒部溪谷トロク電車、鳥取県の大山等)と各地で楽しむことができるアクティビティを取り上げ、それぞれの秋の楽しみ方を色鮮やかな写真とともに紹介し、オンライン広告等で情報発信を行った。



特設サイトトップページ(<https://www.jnto.or.th/autumn2018/>)

- 8 月 9 日～12 日にバンコク中心部にあるクイーンシリキット・ナショナルコンベンションセンターにて開催された国際旅行博 Thai International Travel Fair #23(第 23 回 TITF)に秋の日本をテーマとした VJ ブースを設置し、パンフレット配布、旅程相談等を通じて訪日旅行情報発信を行うとともに、会場での日本行き航空商品購入者向けのギフトアウェイキャンペーンや訪日旅行で体験できるアクティビティに関するクイズ等を行い、秋季の訪日旅行を促進した。



第 23 回 TITF 会場の様子